

第24回 全国学校飼育動物研究大会 **2022**

大会テーマ

学校飼育動物への関心を高め 理解を深めるために ～変わりゆく学校での飼育活動～

主催：全国学校飼育動物研究会 **オンライン(Zoom)で開催**

2022年9月4日(日) 12:30～16:10

東京大学弥生講堂一条ホールでの開催を中止して、オンライン(Zoom)で開催します。

参加申込いただいた方に、研究大会の URL と発表資料をメールでお送りします。

チャットにより当日参加者から質問や意見をお寄せいただく予定です。

研究会終了後「見逃配信」を行います。当日参加・見逃配信視聴ともに参加申込が必要です。



12:30	開会行事
12:50～13:50	□頭発表 (10分休憩)
14:00～15:30	シンポジウム (10分休憩)
15:40～16:00	質疑応答
16:00	まとめ・閉会

□頭発表者

「地域と連携しての飼育活動」

武蔵野大学附属幼稚園 主事 景谷裕香、他担任3名

「ホスティング方式でのモルモットの飼育活動」 太宰府市立太宰府西小学校 校長 江口壽信

「子どもたちの心を耕し 癒しを与える学校飼育動物」 箕面自由学園小学校 教諭 山本佳子

「児童によるウサギの飼育体験活動」 大阪農芸高等学校資源動物学科 生徒 門畑侑那、西川ひなた、他4名

シンポジスト

齋藤博伸 先生 (文部科学省初等中等教育局教科調査官)

並木美砂子 先生 (帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科教授)

中島由佳 先生 (大手前大学現代社会学部教授)

後援 文部科学省、東京都教育委員会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、日本生活科・総合的な学習教育学会、全国小学校理科研究協議会、全国小学校道徳教育研究会、全国国公立幼稚園-こども園長会、公益社団法人全国幼児教育研究協会
公益社団法人日本獣医師会、一般社団法人日本小動物獣医師会、公益社団法人東京都獣医師会

参加申込 7月1日～8月26日に本研究会 Web サイト「申込フォーム」から。

<http://www.schoolanimals.jp/>

参加費 無料 (本研究会員だけでなく、どなたでも参加できます。)

問い合わせ Eメール:school-ownedanimals@ab.auone-net.jp



開催趣旨

我が国の小学校や幼稚園、保育園、認定こども園など（以下、学校という）では、ウサギやニワトリなどの小動物を飼育することが一般的に行われてきました。子どもたちが動物の飼育体験を継続的に行うことは生命の尊さを実感でき、思いやりの心を育むことができます。しかし、鳥インフルエンザの発生が社会問題化してからは学校で小動物の飼育も減少しています。

また、動物愛護管理法が1973年に制定され、その後改正が繰り返され、制度だけではなく市民の動物愛護の意識は変容してきました。それと共に学校での動物飼育に対する考え方や飼育をめぐる環境なども大きく変化してきています。

そこで本研究大会では、これからの学校における持続可能な動物飼育と動物介在教育の在り方を考え、協議し、そして新たな学校における動物飼育に関する提案ができるような交流の機会にしたいと考えております。学校での動物飼育と教育について関心のある方々の積極的なご参加をお待ちしております。

口頭発表（12:50～13:50）

1. 『動物飼育で繋がる子どもと家庭と幼稚園』

武蔵野大学附属幼稚園 主事 景谷裕香、 年中組担任 別府涼子、田端敦子、秋吉梨緒

武蔵野大学附属幼稚園では、獣医師と連携を取りながら、長きにわたり保育活動の中で動物飼育を大切にしてきた。園の動物は各学年で飼育をしており、年長組はにわとり、年中組はうさぎ、年少組はモルモットを子どもたちが世話をしている。モルモットとウサギは週末または長期休暇中に園児の自宅へ貸し出しをしている。それにより園児と動物の関係は更に深まり、保護者またその家族の動物への関心も高まり、動物が子どもと家庭と園のそれぞれを繋げている。動物飼育が広がっていく、子どもと家庭と園とのつながりが深まる様子やその素晴らしさを伝えたい。

2. 『子どもたちの豊かな成長を促す動物飼育の実践』

太宰府市立太宰府西小学校 校長 江口尋信

本校は、令和3年度からホスティング方式でモルモットを飼育している。2年生の児童が、生活科を中心とした学習活動としてモルモットを飼育しているが、継続的な関わりを通して、子どもたちに大きな変化が見られた。具体的には、自分たちの学級の一員として大切にしたり、様々な気付きを表現したりすることができるようになった。さらには、命の大切さについて深く考えることができるようになったことも大きな変化である。今後も、県獣医師会や獣医師の方々と連携し、子どもたちによりよい体験を提供していきたい。

3. 『子どもたちの心を耕し 癒しを与える学校飼育動物』

箕面自由学園小学校 教諭 山本佳子

本校は創立96周年を迎える大阪の北摂地域の私立小学校である。全校生徒は約140名ならずであり子どもたちの関係性も良い。また、うさぎ二羽や鯉やナマズ、金魚にメダカ等生き物を目にする機会は比較的恵まれている。また、隣接する併設の幼稚園にはアヒルやクジャクなども目にする機会がある。とはいえ、高学年になると中学校受験を控え、塾への出席回数が増えるに従いストレスを抱える子どもたちも少なくない。そんな中貴台の提案いただいた「モルモット」飼育は圧倒的な癒しと心を耕すことになった。子どもたちの声を紹介しながら飼育の様子を紹介したい。

4. 『児童によるウサギの飼育体験活動～大阪府立農芸高等学校の取り組み～』

大阪府立農芸高等学校資源動物科 生徒 門畑侑那、西川ひなた、他4名

教諭 瀧口航平、山本ほのか

高校2年生及び3年生の課題研究活動として、小学校や支援学校を対象にウサギの飼育体験活動を大阪府堺市で展開しています。活動先の児童・生徒に動物の命の大切さや思いやりの心を伝えることを目的としています。管理のレクチャーや事後学習など、一つひとつの活動を丁寧に実施することを大切に、活動先の教員と連携し、ウサギの継続飼育がもたらす教育効果を検証しようと取り組んでいます。

シンポジウム（14:00～15:30）※コーディネーター：鳩貝太郎（研究会会長）

齋藤博伸 先生（文部科学省初等中等教育局教科調査官）

並木美砂子 先生（帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科教授）

中島由佳 先生（大手前大学現代社会学部教授）

質疑応答（15:40～16:00）※チャットを利用して参加者からの質問を受けます。